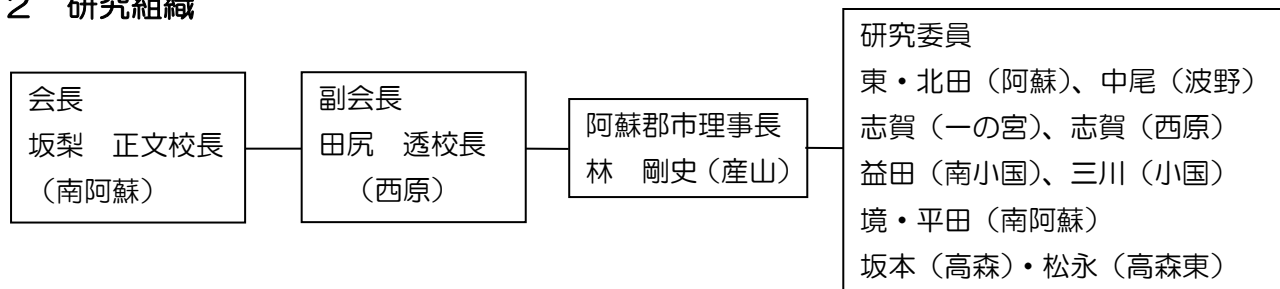


1 はじめに

これまで阿蘇郡市は、坂梨正文校長（南阿蘇中学校）を中心に10校12名の保健体育科担当で研究を進めてきた。今年度は研究主題、仮説をより明確にし、新学習指導要領の改訂で求められる3つの資質・能力を高める指導を効果的な関わり合いによって育成することを研究した。2度の授業研究会を経て平成31年度の熊本県中学校体育研究会の阿蘇大会へ向け、組織づくりや、授業内容の検討などを行った。その土台を来年度の実践並びに研究へと進めていきたい。

2 研究組織



3 活動状況

会議	期日	内容
1 中体連評議委員・体育担当者会	4月13日(金)	H30年度組織決定 授業者決定(一の宮中:志賀 教諭)
2 第1回阿蘇郡市教育研究会総会	5月1日(火)	昨年度の実践の報告・まとめ 研究テーマ・組織・方向性検討
3 夏期研修会	7月26日(木)	指導案検討・体育指導法講習会
4 第46回熊本県中学校保健体育研究発表大会 天草大会	11月22日(木)	天草市 会場:天草有明中学校
5 第2回阿蘇郡市教育研究会 中学校体育保健体育部会	12月4日(火)	公開授業「マット運動」 一の宮中 志賀 貴文 教諭
6 阿蘇郡市中体連・中体研反省	2月21日(木)	年間活動の反省 来年度への志向
7 第3回阿蘇郡市教育研究会 中学校体育保健体育部会	2月26日(火)	公開授業「バレーボール」 西原中 志賀 祐介 教諭

4 研究テーマ

阿蘇郡市 平成30年度
 「自ら運動の喜びや楽しさを求め、
 生涯にわたり健やかな心と体をはぐくむ保健体育学習の在り方」
 ～関わり合う中で3つの資質・能力を育成する学習指導を通して～

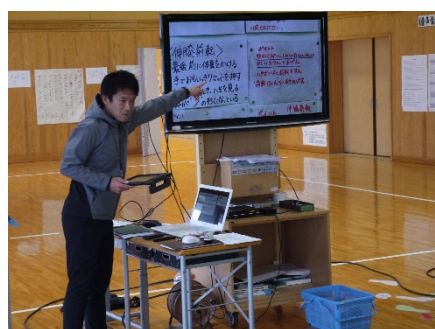
視点Ⅰ 運動の特性を3つに整理することによる学習内容の明確さと学習過程の工夫

視点Ⅱ 効果的な関わり合い「する・みる・支える・知る」を通じた知識・技能の高まり

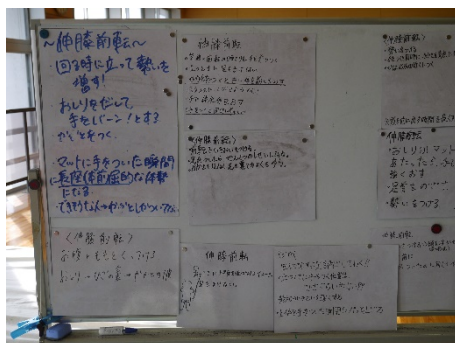
視点Ⅲ 「できる」「分かる」喜びや楽しさを味わう学習

5 公開授業及び授業研究会

器械運動「マット運動」 授業者 志賀 貴文 教諭（一の宮中学校）



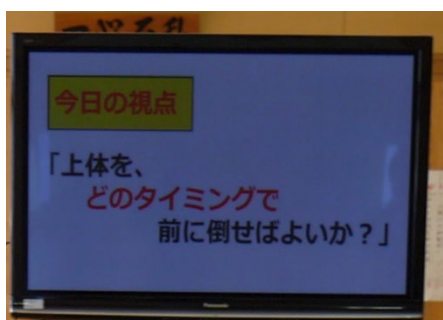
明確化された課題の提示



ホワイトボードに出し合った気づき



グループ内での伝え合い



学習の視点を焦点化



ICT の活用



場づくりの工夫

本時のめあて「グループで伸膝前転のポイントとなる動きを見つけ合おう」

【導入】

- めあての確認
- ICT 機器を活用した動きの把握

【展開】

- 伸膝前転の練習をしよう（グループ）
- グループでポイントとなる動きを考え、見つける →ポイントを発表する

【終末】

- 発表内容を意識して伸膝前転を練習する
- 本時の振り返り

6 まとめ(成果と課題)

☆成果

- ①学習内容を「伸膝前転」に絞ることで視点が焦点化された授業展開。
- ②学校総体で対話的活動に力を入れ、継続的に行うことによる活発な話し合い活動。
- ③グループで出し合ったポイントをホワイトボードに記入する共感的な学習展開。
- ④人と伝え合うことでの「わかる」を実感できる活動内容。

◆今後の課題

- ①自身の課題を克服しきれずにいた生徒の「できた」と実感させる場の工夫。
- ②スキルウォームアップなどのマット運動の特性を取り入れた活動。

今後は平成31年の発表へ向けて「阿蘇らしい授業」について考えながら、より授業内容の検討並びに多くの授業実践を積み重ねていきたい。